

2013  
10月  
第45号

# かい 海 陽

公民館報



央喰中学校の防災キャンプの様子  
※関連記事は2～3ページに掲載

# 防災キャンプ

夏休み中の8月19日(月)～21日(水)の3日間、穴喰中学校1年生と地域住民の方々を対象に2泊3日の防災キャンプを実施しました。参加者は、地域に伝承される津波等の被災の歴史を再確認し、防災意識を高めるとともに、防災・減災の実践的な取り組みの知識とスキルを身に付けることができました。また、本取組によって避難所生活を中学生が体験することによって、中学生が避難所や地域において中心的な役割を果たす青少年を育成することにつながると思います。

穴喰中学校1年生の皆さん、参加者の皆さんおつかれさまでした。

【8月19日】

時間	プログラム	プログラム詳細
13:00～13:30	受付・集合	・ 地域の方々、中学生【中学校体育館へ】
13:30～15:00	開会行事 オリエンテーション 起震車体験	・ 災害発生に対する備え等についての説明 (非常持ち出し袋の内容等を含む)と起震車により震度7を 体感し災害の脅威を知る。 【南部防災館職員による指導】
	防災訓練Ⅰ(避難訓練)	・ 地震発生に伴う津波警報発令を想定し、高台の津波避難所 (緊急避難場所：穴喰農産センター駐車場)を確認して避難所 (中学校体育館)に移動 → 移動後、避難所受付と支援物資受入補助 【海陽町防災課による指導】
15:00～17:00	防災訓練Ⅱ (避難所における役割分担)	・ 班編成を行い、避難所での行動、ルール等について学ぶ。 【海陽町社会福祉協議会による指導】
	防災訓練Ⅲ (避難所 就寝場所設営)	・ 段ボール等を活用した設営技術を学ぶ。 【海陽町社会福祉協議会による指導】
17:00～18:30	防災訓練Ⅳ(炊き出し補助) 炊き出し準備・炊き出し夕食 炊き出し片付け	・ 班内役割の確認、炊き出し補助技術の習得、地域の方と協力 した炊き出し 【婦人会 日赤奉仕団による指導】
18:30～21:00	防災訓練Ⅴ(夜間移動訓練)	・ 夜間時の震災に備え/懐中電灯・ラジオ等を使った夜間移動 訓練 【デイサービスセンターわしずみ荘までの移動訓練】
22:00～	就寝	班ごとに一日のまとめを行う



段ボール等を活用した就寝場所設営の様子



避難場所へ毛布を搬入する様子



初めて食べる無洗米の味はどうか？



起震車体験の様子



自衛隊の話をしている様子



徳島大学中野教授の話をする様子

[8月20日]

時間	プログラム	プログラム詳細
6:30	朝の集い	
7:00~9:00	防災訓練VI (支援物資を想定した朝食)	・ 支援物資を想定した朝食準備と朝食 【アルファ化米 缶詰等の非常食での朝食】
9:30~11:00	防災講演VII (南海トラフの巨大地震について)	・ 南海トラフの巨大地震発生に伴う穴嶺地区の状況について再確認する。 【徳島大学 中野晋教授による講演】
11:20~13:00	防災訓練VIII (支援物資を想定した昼食)	・ 支援物資を想定した昼食準備と昼食 【レトルト食品 缶詰等の非常食での昼食】
13:30~15:30	防災訓練IX (実経験に基づいた災害時の対策について学ぶ)	・ 被災時に役立つ技術を身につける。 【陸上自衛隊第14旅団第14施設隊による指導】
17:00~18:30	防災訓練X(炊き出し補助) 炊き出し準備・炊き出し夕食 炊き出し片付け	・ 炊き出し補助技術の習得と、地域の方と協力した炊き出し。 【海陽町教育委員会による指導】
18:30~20:00	防災訓練11(夜間移動訓練)	・ 夜間時の発災に備え/懐中電灯・ラジオ等を使った夜間移動訓練 【ダイサービスセンターわしづみ荘までの移動訓練】 班ごとに一日のまとめを行う
22:00~	就寝	



今日一日のまとめをしている様子



津波浸水予測図を確認する様子



[8月21日]

時間	プログラム	プログラム詳細
6:30	朝の集い	
7:00~8:30	防災訓練12 (支援物資を想定した朝食)	・ 支援物資を想定した朝食準備と朝食 【乾パン・パン缶等の非常食での朝食】
9:00~11:00	学習・体験発表・まとめ	・ 3日間の学習内容について、発表を通して振り返る。
11:00~	撤収・閉会行事	・ 解散



非常食等で食事をする様子



朝のラジオ体操の様子

婦人会・日赤奉仕団の皆さん  
あつがとう

## 身近なことから考える人権

## いのちのバトン

## 自分の番

## いのちのバトン

父と母で二人  
父と母の両親で四人  
そのまた両親で八人  
こうしてかぞえてゆくと  
十代前で、千二十四人  
二十代前では一？  
なんと百万人を越すんです

## 過去の無量の

いのちのバトンを受けついで

## いまここに

自分の番を生きている

## それが

あなたのいのちです

それが わたしの  
いのちです

みつを

詩人であり、書家でもある相田みつをさんの詩は、「いのち」の尊さについて、温かく、わかりやすい言葉で私たちに語りかけてくれます。

数え切れないいのちのバトンが受け継がれ、そのつながりの中に今の自分があるということ。その中のたったひとりでも欠けていれば今の自分の存在はなかったということ。それは、当たり前のこと

のようですが、不思議なことでもありません。それぞれのかけがえのないいのちが互いに深く関わり合い、支え合い、つながり合って「生かされている」ということでしょうか。

私たちの日々の暮らしを支えてくれる自然環境もまた、過去から受け継がれてきたものであり、次代へと引き継いでいかなければならないものです。環境問題について、「いのち」という観点から見つめ直すことは、身のまわりの人権について考えることにもつながると思います。

## 環境問題と人権

一九六〇年代以降、高度経済成長に伴って、水俣病、第二水俣病、イタイイタイ病、四日市ぜんそくなど、多くの犠牲を強いることになった公害が発生し、大きな社会問題になりましたが、それは言わば特定の企業による特定の地域における公害でした。

今日の環境問題は、特定の企業や産業の生産活動が原因となって発生するものではなく、大量生産、大量消費、大量廃棄といった私たちの生活様式や社会システムそのものが原因となって発生する問題

へと広がっています。環境問題の深刻さは、人間をはじめ生物の生命に直接関わることで、その影響がゆっくりと時間をかけて現れてくることにあります。今被害が出ていないからと言ってこれを放置することは、その影響を次の世代へと持ち越すこととなります。昨今の猛暑や局地的な集中豪雨などに代表される異常気象も、環境の悪化がもたらす地球温暖化の影響なのかもしれません。

二十一世紀は、「人権の世紀」であるとともに、「環境の世紀」とも言われています。環境問題は、私たちの命にかかわる人権問題です。かけがえのない地球環境を守り、大切な命と生活を守るために、新しい社会システムの再構築や、一人ひとりの価値観や生活スタイルの転換が必要となっています。

また、生産活動の中心となる企業には、社会を構成する一員として環境や人権に配慮した行動が求められています。私たちが一人ひとりが日常生活を自分の足元から見直してみることが大切です。

町内でも、道路脇や捨ててはいけない場所に捨てられたゴミを見かけることがあります。自分が出したゴミは持ち帰る、ゴミの分別をきちんとする、ものを大切に使う、節電や節水など、誰もが常に気をつけたいことに地道に取り組むことがまずは大切なことのように

に思います。

自然環境を守ることは、私たちの生命と健康を守ることであり、地球に住むあらゆる人の人権を守ることにつながっています。緑豊かで美しい自然と、人が大切にされる住みよい社会を次代に引き継ぐことは、いま自分の番を生きている私たちの務めだと思います。

(社会教育指導員 谷崎 淑文)

## 「地球環境問題」

1980年代になると、新たな環境問題が出てきました。今進行している主な環境問題として①地球温暖化②オゾン層の破壊③酸性雨④海洋汚染⑤生物の多様性の減少⑥森林の減少⑦砂漠化⑧途上国の公害⑨公害・汚染物質の国際的移動などがあり、「地球環境問題」と呼ばれています。

その特徴は、公害問題とは違って、加害者と被害者とが明確に区別できないことや、被害の影響が限定的なものではなく、国境を越え、地球規模へと広がっていることです。

地球環境と私たちの共存のために、「環境に優しい社会」や「循環型社会」が求められています。

## 第8回 海陽町文化祭

### テーマ『豊かな郷土文化の創造と発展』

サブテーマ「町民の文化交流をめざして」

#### 1) 趣 旨

町民の文化活動の効果を発表し、文化活動に親しみ、楽しみ、また鑑賞することにより、広く町民の文化意識の高揚、文化交流を図ると共に、豊かな郷土文化の創造と発展につとめる。

#### 2) 期 間 **平成25年10月27日(日)～ 11月10日(日)**

展 示	海南地区会場《阿波海南文化村》	10月31日(木)～11月4日(月)
	海部地区会場《海部公民館》	11月2日(土)～11月4日(月)
	穴喰地区会場《穴喰小体育館》	11月2日(土)～11月4日(月)

写真・書道・水墨画・絵画・短歌・川柳・俳句・手芸・押花・布絵・  
木工・アートフラワー・フラワーデザイン・パッチワーク・彫刻・染色・  
陶芸・絵手紙・押絵ほか 児童作品(小学生・中学生)作品等

芸 能(一般)	海南・海部地区《海南文化館ホール》	10月27日(日) 午後1:00～
	穴喰地区 《穴喰小体育館》	11月10日(日) 午後1:00～

日舞・民謡・阿波踊り・ダンス・バレエ・詩吟・歌謡・合唱・バンド・  
華演奏ほか

芸 能(学生)	会場《海南文化館ホール》	11月9日(土) 午後1:00～
---------	--------------	------------------

町内中学校・海部高校和太鼓・器楽部演奏等

3) 主 催 海陽町文化祭執行委員会・海陽町教育委員会

4) 共 催 海陽町文化協会

※ 詳細につきましては、決定次第お知らせいたします。  
皆様の出品 ご参加お願いいたします。

# 浅川公民館対抗ソフトボール大会

7月23日(火)・24日(水) 於：浅川町民グラウンド

**優勝…伊勢田**  
**準優勝…イナ・浦上**



浜・東

伊勢田

八坂

イナ・浦上

西

# 浅川公民館対抗女子ソフトバレーボール大会

8月8日(木) 於：浅川町民体育館

**優勝…イナ・浦上・西**  
**準優勝…伊勢田上**



伊勢田上

浜・東

イナ・浦上・西

八坂・伊勢田下

# 浅川公民館対抗ミックスバレーボール大会

9月12日(木) 於：浅川町民体育館

優勝...伊勢田上  
準優勝...浜・東



# 川東公民館対抗女子玉入れ大会

7月26日(金) 於：海陽中体育館

優勝...浜崎B  
準優勝...飯持C



チーム名	1回目 玉数	2回目 玉数	合計
① 四方原 A	47	63	110
③ 飯持 A	86	97	183
⑤ 四方原 B	52	77	129
⑦ 浜崎 A	74	82	156
⑨ 飯持 B	68	76	144
⑪ 松原・五反田 A	棄権		
⑬ 四方原 D	30	41	71

チーム名	1回目 玉数	2回目 玉数	合計
② 松原・五反田 B	82	70	152
④ 前田	56	78	134
⑥ 吉野・熟田	棄権		
⑧ 中小路	68	45	113
⑩ 四方原 C	54	50	104
⑫ 浜崎 B	87	86	173
⑭ 飯持 C	88	82	170



# 川東公民館対抗男子ソフトボール大会

7月29日(月)・30日(火) 於：松原町民グラウンド

優勝…松原・五反田  
準優勝…四方原



# 川東公民館対抗ミックスバレーボール大会

8月31日(土) 於：海陽中体育館

優勝…松原・五反田A  
準優勝…浜崎



Aコート対戦チーム			Bコート対戦チーム		
中小路	21-17	飯持	松・五B	21-9	四方原
飯持	13-21	松・五A	四方原	7-21	浜崎
中小路	14-21	松・五A	松・五B	10-21	浜崎

決勝	松原・五反田A	2-1 9-15 15-9 15-6	浜崎
----	---------	-----------------------------	----



## 穴喰公民館グラウンドゴルフ大会

**優勝**…**樽井栄子さん**

(穴喰浦)

**準優勝**…**藤本 正さん**

(穴喰浦)

8月8日(木) 於：穴喰県民グラウンド

日中のうだるような暑さを避け、少し涼しくなった県民グラウンドで各分館から交流と親睦を図ることを目的に、穴喰公民館交流グラウンドゴルフ大会が開催されました。参加者の皆さんは日頃の練習の成果を発揮できるように、ベストを尽くしながらも、楽しく笑いありでボールの響く音がしていました。ホールインワン賞も11人の皆さんが獲得しました。



## 川上公民館グラウンドゴルフ大会

**優勝**…**大西新一さん**

(平井)

**準優勝**…**北上篤江さん**

(相川)

9月8日(日) 於：若松グラウンド

小雨の降る中、グラウンドゴルフを通じて互いの交流と親睦を図ることを目的に、開催されました。いっときに比べ、暑さは多少和らいだものの参加者たちは少しでも良い成績を残そうと真剣に取り組みながらも、グラウンドには笑い声とボールを打つ音が響いていました。

結果は、左のとおりです。

また、ホールインワン賞も10人の皆さんが獲得いたしました。



## 海陽町体協杯後期バレーボール大会

9月1日(日)  
於：海陽中学校体育館

優勝…穴喰クラブ  
準優勝…日和佐体協



	チーム名	得点	チーム名		チーム名	得点	チーム名
①	日和佐体協	2-0	海部クラブ	①	WAK 2 那賀	0-2	穴喰クラブ
②	海部クラブ	1-2	海南ひまわり	②	穴喰クラブ	2-0	K・Club
③	海南ひまわり	0-2	日和佐体協	③	K・Club	0-2	WAK 2 那賀
決勝	穴喰クラブ	2-1	日和佐体協	3位決定戦	海南ひまわり	0-2	WAK 2 那賀

## 第16回 還暦野球黒潮大会

9月21日(土)・22日(日)  
於：蛇王球場 他

優勝…徳島クラブ  
準優勝…DaDaこうづき



21日

蛇王球場	徳島クラブ	6-1	奈良マスターズ
	瑞祥会爛漫クラブ	13-2	奈良マスターズ
	徳島クラブ	8-1	瑞祥会爛漫クラブ
徳島県民体育館	阿南還球会	0-7	玉野・野球人
	阿南還球会 (1-4歳)	-	海南クラシックス
	玉野・野球人	5-0	海南クラシックス
高松市市民体育館	横シニア	13-3	植野クラブ
	DaDaこうづき	5-0	植野クラブ
	DaDaこうづき	12-5	横シニア
高松市市民体育館	阿南名球クラブ	3-2	瀬戸内バイレーツ
	瀬戸内バイレーツ	12-8	阿波通商ベースボールクラブ
	阿波通商ベースボールクラブ	8-6	阿南名球クラブ

22日 蛇王球場

徳島クラブ	1 (設1)
野玉球野人	6
DaDaこうづき	1 (設0)
DaDaこうづき	10
バスターズ	3
バスターズ	0



※得失点差により、瀬戸内が準決勝へ

# 四国中学校総体結果

8月3日 会場…高松市総合体育館

バスケット  
ボール 男子

1 回戦

香東中 54 - 38 海陽中  
(香川県)



8月3～4日 会場…高松市総合体育館

バスケット  
ボール 女子



1 回戦

海陽中 56 - 41 宿毛中  
(高知県)



準決勝 第3位

道後中 61 - 38 海陽中  
(愛媛県)

8月3～4日 会場…春野総合運動公園陸上競技場

(通信)

陸 上

走幅跳び

川崎成龍(穴喰中)… 6位(173cm)

三段跳び

佐藤 心(海陽中)… 8位(11m88cm)

喜多選介(穴喰中)… 9位(11m87cm)

1年1500m

山田清香(海陽中)…  
9位(5分10秒93)



# 平成25年度 海陽町文化財巡り

町内小学校3校の6年生を対象に、町内の文化財めぐりを3日間開催しました。

説明は、海陽町立博物館郡司早直学芸員、岡田一郎さん、徳島県南部総合県民局職員1名、川部計美さん、田井晴代さん、朝日増美さん、戸田真理子さん、南部防災館職員2名あわせて9名が行いました。8月7日(水)は穴喰小学校6年生21名、8日(木)海南小学校の6年生43名、9日(金)に海部小学校の6年生19名がそれぞれ文化財めぐりを行いました。参加した児童は、熱心に最後まで説明を聞いていました。



海部町の見学



博物館での見学



文化財について説明



模型の大里古墳



跡痕について



笏勒石仏について

# 「中川彩 絵画展」を開催して

町立博物館では夏の企画展として、七月二十七日(土)から九月一日(日)まで、海南町(現海陽町)出身の中川彩さんの絵画作品等40点を展示しました。当展覧会でご紹介した作品は、油彩画31点、水彩・アクリル画7点、石膏粘土・油彩2点で、サイズもF60



絵画展の様子

(1303×970mm)の大きなものから、SM(227×158mm)の小さなものまで、個性溢れる力作が会場に並び、お盆休みの期間をはさんで、連日多くの観覧者が会場を訪れました。中川さんは徳島県立海南高等学校在学中には、谷育子氏(海陽町在住)の美術の授業に学び、これまで独学で絵画作品等の制作をされています。現在は高松市在住で、香川県美術家協会会員として活動されており、今回初めてふるさとの町での個展の開催となりました。展示された作品は、二〇〇八年から本年二〇一三年までに制作した童画で、二〇〇九年香川県美術展覧会奨励賞受賞作の「時こそ今は」や、本年、香川県美術展覧会入選作の「方舟」をはじめとする代表作品など一枚一枚の絵のなかに、中川さんの空想力から生まれた魅力的な愛らしい世界が描かれていました。

会場には子どもたちや多くの女性の姿も見受けられ、日常世界の扉の外に無限にひろがるファンタジーを満喫できる展覧会であったのではないのでしょうか。本町出身の新進作家として、これからも魅力ある作品づくりの続きを生み出していきたいと願います。



絵画展で来場に挨拶する様子



中川彩作「時こそ今は」

第八回 海陽町文化祭関連行事

人権文化を考える

『海部路に舞う人形』

■日時 平成25年11月15日(金)

午後2時～4時(午後1時30分開場)

■場所 海南文化館ホール ≪入場無料≫



「義経千本桜・大物浦の段」常磐座(新潟)



「三番叟まわし」阿波木偶箱まわし保存会(徳島)



阿波木偶箱まわし保存会(徳島)

主催/海部郡町村会  
 企画/特定非営利活動法人  
 ヒューマンネットとくしま  
 講演/辻本一英  
 実演/佐渡人形芝居「常磐座」(新潟県)  
 乙女文楽・桐竹蘭紗也(大阪府)  
 阿波木偶箱まわし保存会(徳島県)



「鶯嬢」乙女文楽・桐竹蘭紗也(大阪)

ふるさと発見講座 第6回 特別講話

# 海部郷土史60年

郷土出版物の一部から、1. 阿波のいただきさん、2. 海部の人物関六かんろくについて  
3. 小笠原島発見記、4. 海部刀研究のまとめについて特別講演をいたします。

日時

平成25年

## 11月16日(土)

午後1時30分～午後3時

会場

阿波海南文化村

## 海陽町立博物館 エントランスロビー

※ **受講無料** 申し込みは必要ありません。  
お問い合わせの上、お気軽にご参加ください。

講師



海陽町立博物館協議会会長  
**岡田 一郎氏**

主催/問い合わせ先：海陽町立博物館 tel.0884-73-4080

# モラロジー 生涯学習セミナー

※モラロジーとは、日本語で「道徳科学」といいます。

モラロジー生涯学習講座は、文部科学省、徳島県市町村教育会連合会の後援使用許可を受けた学習会です。

日時 **平成25年11月24日(日)～25日(月)**

19時30分～21時30分

会場 浅川漁村センター2階(海陽町浅川)

講師 社会教育講師 正木 文男 氏

参加費 **1,000円**

運営 海部郡モラロジー事務所

問い合わせ 代表 大田(牟岐町) **72-0175**



日々どのように心を磨けば、喜びの多い人生を送ることができるかについて、気づくことができるセミナーです。ぜひ、ご参加ください。

# 穴喰俳句

九月例会より

カンナ濃し隣は家を閉じしまま  
病室の窓いっぱい雲  
雨蛙蛙を跳び越す世界新  
初秋の葱の白さがうつくしい  
日捲りがちよつとスルムになつて秋  
窓にさす夕日やわらぎ柿落葉  
日葉の残りわずかに九月かな  
日と耳もほてつた夏を冷ます雨  
片陰を選んで通る人ばかり  
甲州の巨峰の届く九月かな  
鵜頭のひとときの色あざやかに  
曼珠沙華浄土は西にあるという  
白团扇虫を叩いて後悔す  
晩夏光むかしの事は鮮明に  
老犬のますます老いて夏終る  
名月やいわれの多き村に住み  
防災の日や白紙のひらひらと

寺崎照代  
長岡達江  
新井駿也  
藤川照子  
外山千佳  
井花一山  
間戸谷恵子  
山本球子  
阿津敏美  
陸田ヨネ子  
中島時  
中岡啓泰  
新井久実  
鍛冶田辰  
梅田千恵子  
元木朱子  
木下野生

# 海南俳句

九月句会より

継ぐ子なき農具をみがく秋の暮  
妻の魂何処にありや星月夜  
一面の薊り田となりてわら香る  
復興の夏声高く商いす  
喪婦りのひとりの怪やねこじゃらし  
露天風呂方言あれこれ星月夜  
魔道にふるさとしのお曼珠沙華  
鱗雲行方は一つ隣り千々  
虫の音に誘われ文をしたためる  
夫の忌に静かな色の秋核  
城壁の年経る大石せみしぐれ  
新涼や身にそふものの新しき  
山籠れる高千穂の町秋澄めり  
農を継ぐ青年オクラ手に匂ふ  
芸術の秋は来にけり傘の骨  
帰りゆく人を見送る十月月

岡田賀代子  
岳山祐弘  
山本達平  
津川須美江  
廣瀬克子  
森浩子  
岡攝郎  
鍛冶崎郁夫  
平道はつ子  
谷口洋根子  
新居利之  
田中たち子  
叶岡陽二  
富田関二  
武知陸子  
橋本幸子



### 海部短歌会

「妻めし」と書かれた店に入りゆく礼所めぐりの旅の終わりに  
 春疾風に遇いて出来ばえ恵き稲やさしき梅雨であれよと願う  
 秋の夜の頭上に架かる天の川集がれて消える流星の有り  
 白さぎと五位さぎ仲よく川原にて鮎の遡上をひそかに待てり  
 水道なく釣瓶で井戸水扱みいしはまだ遠からぬ六十年前  
 孫の伸び老いて縮みし我が身長背くらべせんと桂のそばに  
 ぐつぐつと小豆煮つまる厨にて煮つまらないのは短歌の結句  
 別るるも出合うも任す雲水の流るるままの夏の寺かな

風呂谷幸子 溝内和恵 小笹仁子 池田孝司 北村千代子 西田美代 伊岡節子 田村航也

### 海部ひまわり俳句

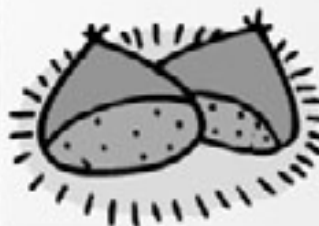
人見るも見ざるも咲きし草の花  
 百日紅隣り村への坂に咲く  
 秋風が吹いてきた家へ帰ろうか  
 病葉の多き年なりこの朝  
 赤い月中天にあり団扇措く  
 一汗をかいて満ちたる一日かな  
 新涼や白鷺大きく羽拡げ  
 出棺の鐘をたたけば蝉時雨  
 秋雨や今夜のおかずおでんにし  
 運命の変化しみじみ盆の月

津田公明 西本育代 岡原礼子 榊原歌子 南田嘉子 松田嘉子 元木美枝子 佐藤美代子 穴戸道子 川野照美

### 網代川柳九月句会より

動かずも猛暑で汗がにじみわく  
 よく動き話し通じる手話の指  
 口だけは達者動きにふくなる  
 控えめな姿勢は何時も暖かい  
 不器用に生きた人生この姿勢  
 勢いで出した一步に残る悔い  
 冷や飯で茶漬け気兼ねのない夫婦  
 衣食住足りて我慢がこぼれ落ち  
 食通も亡き母の味恋しがる  
 近代化進む文化が平和消し  
 笑い合いかばいあつてる年に成り

椎崎日和 黒岩一平 中村あかり 北川弥生 井上可楽 石垣小道 風呂谷いずみ 山本三久 高木柳月 福岡純山 太田一洋



トピック

海陽町有形文化財（考古資料）

## 石 斧



明治37年（1904）に浅田カネが浅川の大歳神社裏山より発見した磨製石斧である。基端は丸味があり、刃部に下るにつれて広がり、刃部に最大幅がある。基部・刃部ともによく磨かれており、刃部の縁の形状は円刃で非常に鋭利である。

長さ19.5cm、幅6.4cm、厚さ4.2cmであり、基端は1.5cmで円形をなしている。石材は砂岩である。

なお、この磨製石斧には、日本の人類学、考古学の草分けである坪井正五郎博士が鑑定した書簡があり、併せて町立博物館に展示されている。